



# 企業情報

会社名 株式会社 佐藤組  
 所在地 山形県鶴岡市宝田二丁目9番72号  
 設立 大正10年5月1日  
 資本金 35,000,000円  
 従業員 42名(従業員39名・役員3名)  
 事業内容 建築工事・土木工事の設計施工及び監理  
 産業廃棄物収集運搬業  
 免許 山形県知事  
 二級建築士事務所 山形県知事登録  
 健康経営優良法人2023取得(6年連続)  
 TEL TEL: 0235-22-3233  
 FAX: 0235-24-1291  
 煉瓦の家庄内店  
 TEL: 0235-22-3388  
 WEBサイト <https://satou-gumi.com>  
 お問い合わせフォーム <https://satou-gumi.com/contact/>



WEBサイト



お問い合わせ  
フォーム



# 心を つなぐ 懸け 橋 に

総合建設業

友 株式会社 佐藤組



TOMO & RROW

うさぎの「トモ」とネズミの「ロー」は佐藤組のマスコットキャラクターです。  
仕事はテキパキ早いけどおちょこちよいのトモ、おっとりしているけど確実な仕事でしっかり者のロー。  
2人のコンビで佐藤組と力を合わせ、安全第一で明日の暮らしを守っています。

# 願いを懸ける

## 地域の発展を望み、想いを馳せること

私たち佐藤組はお客様にご満足いただける良質の建築、土木工事を提供することにより、お客様と地域社会、取り巻く全ての人の心と心を結ぶ懸け橋としてより豊かな地域社会の実現を願い、貢献してまいります。

### 企業理念

私たち佐藤組は建築・土木工事の施工、及び建築物の解体工事・付帯サービスを通じ、地域で最も信頼される総合建設会社を目指します。構造物の精度向上を目指して技術の錬磨を行い、環境管理体制を整備し環境汚染の予防に努めるとともに、事故のない快適な職場を築くため継続的な改善に取り組めます。法律、規制、業界規範等を遵守し全従業員が方針を理解し、持てる能力が十分発揮できる職場を目指し会社組織の強化を図ります。



### 事業内容

#### 公共工事

佐藤組が創設以来携わってきた公共に関する土木・建築工事は、地域社会の発展、より豊かな生活の実現のために、重要な役割を担っています。自然環境とも共存し、未来の地球のために私たちができることを常に考え、取り組んでいます。

#### 民間工事

この地で100年培ってきた信頼と技術力を活かして多くの人々が幸せや喜びを感じることでできる空間を創造、活気ある地域づくりに貢献しています。美しく、耐震性・耐火性に優れ、冬の凍結にも強い「煉瓦の家」や、長年培ってきた建築技術を活かし街並みに際立つ新しい日本の家づくりをしています。

#### 除雪

佐藤組では交通や場所の確保、建物の損壊防止などでの冬の除雪作業を行っております。また、公園や道路などの整備なども行い、地域の人々の暮らしに安心安全を提供してまいります。



# プライドを懸ける

## 自ら築き上げた誇りを胸に、取り組むこと。

佐藤組は創設時の生業でもあった土木工事を中心に、公共工事、民間工事、除雪など、毎日の暮らしに欠かせない事業を展開しています。それぞれの事業にプロフェッショナルとしてのプライドを懸け、最適なサービスを提供しています。

## 創設100年、更なる一步を。

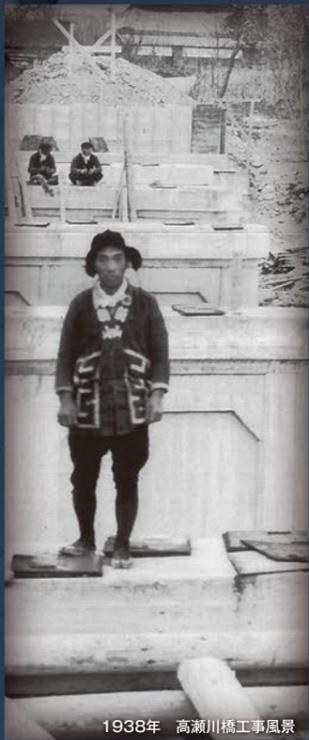
大正10年に佐藤組が創設されてから100年もの歳月が流れました。総合建設業として地域社会に貢献することを旨とし、昭和29年に株式会社に組織を改め、地域における社会資本の整備、さらに災害復旧工事等に弊社の技術力を結集させ社員一丸となって邁進してまいりました。私どもは初心に立ち帰ることを忘れず、新たな時代の要請にフレキシブルに対応できる企業を目指して研鑽を重ね、さらに一步を踏み出す所存でございます。皆さまのご支援とご理解のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 佐藤友行 Tomoyuki Sato





1938年 高瀬川橋工事風景



1938年 高瀬川橋工事風景



1959年 中台地区建設工事



2004年 S様邸新築工事

Phase-3

# 心に懸ける

忘れないように、しっかりと覚えておくこと。

古くは大正10年より現代まで、  
多くの施工実績を積み重ねてきました。  
先人の経験を糧として受け継がれてきた  
技術と対応力が、新しい時代を作ります。



1955年 羽黒山自動車専用道路竣工を記念して



1990年 南野道路改良舗装第3工事



2023年 菅野地区道路改良工事



2022年 のぞみ cafe nanairo 新築工事



1981年 内川第二護岸工事



2011年 道形保育園園舎新築工事



2008年 鶴岡市立第二中学校改築工事



2019年 鶴岡市小堅浄化センター建設工事

## 受賞歴 (抜粋)

- 1981年 7月、内川第二護岸工事が、東北地方建設局局長賞を受賞。
- 1985年 6月、山形県庄内児童相談所鶴岡乳児院新築(建築)工事が、山形県技術協会賞(山建賞)を受賞。
- 1988年 6月、工事用道路ソリ倉橋仮設橋基礎工事が、月山ダム建設工事労働災害防止対策協議会安全表彰。
- 1990年 南野道路改良舗装第3工事が東北地方建設局局長賞を受賞。
- 1992年 7月、内川中小河川改良工事(第1工区)が、山形県技術協会賞(山建賞)を受賞。
- 1993年 2月、池上歯科医院増改築工事が、鶴岡商工会議所会頭・建設工業部会長賞を受賞。
- 1994年 平成4年度鶴岡公園疎林広場整備工事が、鶴岡市長賞を受賞。  
6月、月山ダム貯水池護岸(その3)工事が、月山ダム建設工事労働災害防止対策協議会安全表彰。
- 1995年 5月、左岸地山対策(その2)工事が、月山ダム建設工事労働災害防止対策協議会安全表彰。
- 1996年 2月、赤澤歯科医院新築工事、市道関根1号線整備事業工事、市道砂山3号線特殊改良一種工事が、鶴岡商工会議所会頭・建設工業部会長賞を受賞。
- 1997年 2月、田種院本堂・庫裏改築工事が、鶴岡商工会議所会頭・建設工業部会長賞を受賞。
- 1998年 7月、月山ダム中ノ平地区整備工事が、東北地方建設局局長賞を受賞。
- 2000年 9月、湯殿山道路改良舗装工事が、東北地方建設局建設技術提案(3D)表彰。
- 2001年 2月、平成11年度道路改築事業(国道)一般国道345号(鶴岡南バイパス)道路改良工事(0国債)が、鶴岡商工会議所会頭・建設工業部会長賞を受賞。
- 2002年 8月、鶴岡市武道館新築工事が、山形県技術協会賞(山建賞)を受賞。
- 2003年 7月、鶴岡市養護老人ホーム友江荘平成13年度改修工事が、鶴岡市長賞を受賞。
- 2004年 7月、鶴岡市立湯野浜小学校改築工事が、山形県技術協会賞(山建賞)、鶴岡市長賞を受賞。
- 2005年 7月、鶴岡市公共下水道事業遠賀原幹線樋門改築工事が、鶴岡市長賞を受賞。
- 2006年 7月、鶴岡職安庁舎増築建築工事が、東北地方整備局秋田営繕事務所長から表彰。
- 2008年 7月、鶴岡市立鶴岡第二中学校改築工事が、山形県技術協会賞(山建賞)、鶴岡市長賞を受賞。
- 2010年 7月、市道二中前線歩道設置工事が、鶴岡市長賞を受賞。
- 2011年 7月、市道工業団地茅原線道路改良工事(その2)が、鶴岡商工会議所会頭賞を受賞。
- 2012年 7月、道形保育園園舎新築工事が、鶴岡商工会議所会頭・建設工業部会長賞を受賞。
- 2014年 8月、鶴岡市・佐々木邸新築工事が、鶴岡商工会議所会頭・建設工業部会長賞を受賞。
- 2015年 7月、小規模特別養護老人ホーム「仮称しらやま」新築工事が、鶴岡商工会議所会頭・建設工業部会長賞を受賞。
- 2016年 7月、鶴岡商工会議所会館建設工事(共同企業体)が、鶴岡商工会議所会頭・建設工業部会長賞を受賞。
- 2017年 8月、平成28年度河川整備補助事業(防災安全)黒瀬川屋田橋橋梁下部工事が、山形県技術協会賞(山建賞)を受賞。
- 2019年 7月、養護老人ホーム友江荘及びユニット型地域密着型特別養護老人ホーム友江荘(仮称)新築工事(共同企業体)が、鶴岡商工会議所会頭・建設工業部会長賞を受賞。
- 2020年 11月、茅原こども園(仮称)新築工事が、鶴岡商工会議所会頭・建設工業部会長賞を受賞。
- 2021年 3月、鶴岡市小堅浄化センター建設工事で、日本下水道事業団令和元年度優良施工業者に選出。
- 2022年 11月、のぞみcafe nanairo新築工事が、鶴岡商工会議所会頭・建設工業部会長賞を受賞。
- 2023年 3月、最上川下流域下水道庄内浄化センター建設工事その6で、日本下水道事業団令和4年度優良施工業者に選出。
- 2024年 3月、広野北地区道路改良工事で、酒田河川国道事務所工事技術検討会技術部門で優秀賞を受賞。

# 次の100年へ、望みを懸ける

夢を実現するため、願いを託すこと

大正10(1921)年創設の佐藤組は、2021年に100周年を迎えました。良い時代も、そうでない時代も、私たちは地域社会と共にありました。

そしてこれからの100年も、皆様に豊かなくらしを届け、一步一步あゆみを進めます。

## 沿革

- 1921年 神田組より独立し、鶴岡町大字大宝寺字大宝寺295に事務所設置。以後、初代佐藤友次郎、中沢政雄が主に土木工事を請負う。
- 1945年 初代友次郎の兄弟である友春、友次、友吉、甚吉が戦地より引き上げ、初代のもとで働く。
- 1950年 二代目友次郎襲名 / 県知事より認可を受ける。知事登録(イ)第436号
- 1954年 株式会社佐藤組に改組 / 山形県建設業協会鶴岡支部入会
- 1956年 鶴岡市大字大宝寺295番地から鶴岡市大字大宝寺字大宝寺498番地へ事務所移転。
- 1957年 二代目社長建設業協会鶴岡支部理事就任
- 1958年 山形県知事登録(ハ)第436号
- 1968年 羽黒町大字荒川字西田169に羽黒出張所開設。
- 1972年 鶴岡市大字道形字宝田158番地1に本社移転。
- 1975年 三代目代表取締役任に佐藤友行就任
- 1978年 営業項目を建築・土木工事の設計施工及び監理に拡大。
- 1981年 野球部発足し、週1回鶴岡市立第2中学校で夕方練習。 / 羽黒出張所新築
- 1987年 佐藤友行建設業協会副支部長に就任。
- 2001年 営業項目に産業廃棄物収集運搬業を加える。 / ISO9001、14001取得。
- 2002年 創立80周年記念式典開催 / 山形県河川アダプトの第1号認定活動団体となる。 / 小さな親切運動実行章受章
- 2021年 創立100周年を迎える。
- 2024年 創立100周年記念事業映画「懸け橋」制作。



100周年記念旅行



野球部(1981年発足)



河川愛護活動



ボウリング大会



ビアガーデン



本社入り口門柱の蛙「無事カエル」の象徴

株式会社佐藤組100周年記念事業映画

# 懸け橋

DarwinFilm Project

## 佐藤組に受け継がれる「懸け橋」の意味とは?

2024年秋、弊社の創設100周年を記念して、社員出演で描かれるオリジナルショートムービーを制作いたしました!私共のホームグラウンドである山形県鶴岡市の各所で撮影を敢行、若い社員たちが悩みつづきながら、先輩社員の励ましや、社に100年受け継がれてきた「懸け橋」の意味を考え、人として、社員として一歩ずつ着実に成長していく姿を描くハートフルストーリーです!

撮影は2024年10月の2日間にわたって行われ、早朝から夜まで分刻みのスケジュールの中、社員有志と制作スタッフが一致団結して撮影に臨みました!初めは緊張した面持ちの出演者たちでしたが、撮影が進行するにしたがって生き生きとした表情になり、演技を楽しんでいるようでした。

果たして佐藤組に受け継がれる「懸け橋」とは何なのか?その答えは映画の中に!佐藤組創設100周年記念プロジェクト映画「懸け橋」!ちょっと元気のない時、ちょっと励ましが欲しい時、そっと背中を押してくれるような映画になっています!!

